



第4会場● 4F 大研修室

■司 会／糸井 茂 福岡県北筑後教育事務所社会教育室 主任社会教育主事
中村由利江 ゆめなか@情報局

分科会の進め方

10:45～10:50

1 「わくわく土曜塾」-公民館利用グループを中心とした「ボランティア村」の子育て支援- 10:50～11:20

林 義高（山口県長門市）中央公民館内「事業企画運営委員会」委員長

H 18年から開設。子育て支援も、学校週5日制対応も含んだ、通年、全土曜日を網羅した子どもの活動プログラムである。拠点は中央公民館、指導者は公民館を利用している各種グループから選出された「ボランティア村」のメンバーである。64種類の講座を通して、安心・安全の確保、規範意識の形成、女性支援・子育て支援、学校教育の補完などを目指している。公民館と住民指導者の「協働」事業であり、指導する側の「活力」を創造する隠れたカリキュラムになっている。

2 障害者の社会参加と地域交流ネットワークの創造

11:25～11:55

高木春未（鳥取県境港市）社会福祉法人まつぼっくり 施設長

小規模施設としてH 10年に建物を建設。障害者が清掃や塩の袋詰めなど軽作業を営みつつ自立と社会参加の道を探りながら、合わせて、地域との交流を促進できるようバザーや太鼓の演奏を通して地域行事にも積極的に参加し、交流と連携を促進している。

3 学校と地域の連携による生涯学習の推進「校区公民館制度」-まちづくりは校区コミュニティから-

12:00～12:30

有村博文（鹿児島市）鹿児島市教育委員会生涯学習課 指導主事

S 48年以来培った「校区社会教育委員制度」の成果と反省を生かして、79の小学校区の全てに関係機関・団体の代表者を網羅した「校区公民館運営協議会」を設置し、校区の特徴と実情に即した事業を企画、実施している。近年は、全校区が一斉に、それぞれの校区の自尊意識の向上を目指した「わがまち自慢スローガン」を決定し、「わがまち自慢づくり支援事業」、引き続き「わがまち自慢づくり推進事業」を展開している。生涯学習、青少年の健全育成、コミュニティの形成が基本視点である。